

各会計の予算状況

| | |
|----------|------------|
| 一般会計 | 34億6,008万円 |
| 特別会計 | 5億4,740万円 |
| 国民健康保険会計 | 6,325万円 |
| 水道会計 | 4,665万円 |
| 学校給食会計 | 412万円 |
| 港湾整備会計 | |
| 合計 | 41億2,150万円 |

56年度当初予算決まる

町民会館建設などデッカイ34億円

昨年より八億円増

町の台所、昭和五十六年度の当初予算が決まりました。多いのは教育費で、全体の半分以上を占める十七億

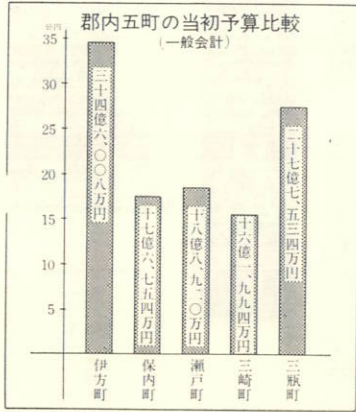
これをみてみますと、一般会計は三十四億六千八百万円というデッカイ予算が組まれました。

特別会計では、国民健康保険会計が五億四千七百四十万円、水道事業会計が六千三百二十五万円、学校給食会計が四千六百六十五万円、港湾整備事業会計は四百十二万円となっています。

これらを合計してみますと、実に四十一億二千五百五十万円もの大型予算の誕生です。

昨年の当初予算総額と比べてみても、八億一千二百五十四万円増となっています。

一般会計予算の特徴を見てみますと、入ってくるお金では、町税が九億八千二百二十万円（昨年は一億二千万円）で依然トップ、全体の二十八パーセントを占めています。



| | | | |
|-------|---------------|------|-------------|
| 衛生費 | 6,431万円(1.9%) | 子育て費 | 600万円(0.2%) |
| 議会費 | 5,427万円(1.6%) | 商工費 | 444万円(0.1%) |
| 災害復旧費 | 4,316万円(1.2%) | 諸支出金 | 72万円 |
| 消防費 | 1,586万円(0.4%) | | |
| 労働費 | 1,314万円(0.4%) | | |



ことしは こんな事業を

右欄の「使うお金」の円グラフから、主な事業をひらいてみました。

教育費 17億3,889万円

- 町民会館建設費 15億7,206万円
- 加周教員住宅移転新築設計料 95万円
- 小中学校備品購入費 1,047万円
- 施設維持補修費 1,151万円
- 「伊方町の文化財」発行費 60万円
- 向集会所改修費 380万円
- 視聴覚教材購入費 201万円
- 学校給食センター費 2,788万円
- ことし3月に完成した町民体育館管理費 136万円

このほか、遠距離通学費補助が1人年額40,380円（昨年35,330円）にアップ、町主催のスポーツ大会参加者全員が1日スポーツ保険に加入する経費なども予算化されました。

農林水産費 3億7,070万円

- 畜産経営環境整備事業 8,234万円（河内出ヶ谷へ畜舎、排せつ物処理施設などを整備します。）
- 果樹振興対策補助金 110万円
- 南浦地区土地改良総合整備事業 4,060万円
- ブル施行農道開設補助金 300万円
- 魚のアパート、漁礁投入費（室泉沖合へ並型漁礁を60個） 456万円
- 豊之浦漁港改修費 1億2,200万円
- 亀浦漁港局部改良事業 3,000万円
- 伊方漁港（中浦）海岸保全事業 860万円

民生費 3億4,622万円

- 郡内のトップを切って、昨年からスタートした心身障害者福祉給付金 410万円
- 重度心身障害者医療費扶助 809万円
- 老人医療費 5,237万円
- 母子家庭医療費 100万円
- 児童手当費 3,594万円
- 国民健康保険繰出金 2,572万円
- 町内7カ所の保育所費 1億6,660万円
- 敬老会補助金を1人当り1,000円から1,300円に、高齢者の記念品代も1人当り3,000円から3,300円にそれぞれ増額されています。

公債費 2億8,159万円

定期償還金と利子が公債費の主なものです。

総務費 2億7,203万円

町職員の給与なども総務費の中に含まれています。

- 部落区長さんの報酬 230万円
- 九町越公園の西側に気象観測塔を建設する工事費 250万円
- 雨量、温度計など観測器具購入費 540万円
- 広報「伊方町」発行費 176万円
- 土木費 2億4,875万円
- 道路台帳整備委託費 500万円
- 道路維持補修費 150万円
- 道路新設改良事業
 - 一九町九町越線250m改良 4,200万円
 - 中浦西川線90mを新設 2,000万円
 - 二見大松線200m改良 3,000万円
 - 一九町女子線200m改良 2,000万円
- 高沙対策事業
- 伊方港（中之浜～大浜）1億円

衛生費 6,431万円

- カ、ハエなどの町内一斉消毒費 329万円
- 乳児医療費 135万円
- 成人病検診費 278万円
- 結核、寄生虫検査、麻しん予防、胃、婦人などの各種検診費 269万円
- 妊婦に9カ月間牛乳を支給する費用 97万円

このほか、全町民の予防接種事故賠償費や町内五カ所にグリーンボックス（ゴミ入れ）を設置する費用なども計上されました。

議会費 5,427万円

議員さんの給与、手当などが議会費です。

災害復旧費 4,316万円

- 農道5カ所の災害復旧費 405万円
- 町道22カ所の災害復旧費 3,080万円

消防費 1,586万円

消防団員報酬を平均9.2%、出動手当1日当り800円から1,000円に引き上げられました。

労働費 1,314万円

失業対策事業の人工賃金などです。

予備費 600万円

商工費 444万円

諸支出金 72万円

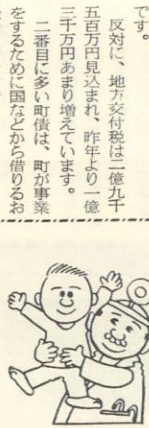
町民会館



伊方駐在所前方向から見た完成予想図。右側が現在の役場庁舎です。完成後は、この写真と一部変更になります。

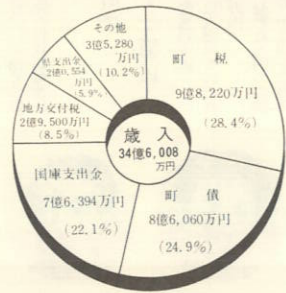
役場東側に地上六階建 一千人収容の大ホール

先にも紹介したように、役一千人を一度に収容できる規模の「町民会館」を建設します。大ホールを設けます。十五億七千万円の巨費、本町に金をこぎます。



反対に、地方交付税は二億九千五百万円見込まれ、昨年より一億三千万円増えています。一番目が多い町債は、町が事業をするために国などから借りたお金のことです。

入ってくるお金



九億八千万円が町税

入ってくるお金では、町税が九億八千二百二十万円、全体の二八・四パーセントを占めています。これは、原子力発電所建設から入ってくる町税の大部分が大規模償却資産で、年々償却されるためです。

国保特別会計

一般会計から繰入で

税の上昇二・五%

この国民健康保険会計は歳入、歳出それぞれ五億四千七百四十万円です。この会計は、みなさんご承知のとおり、町の国民健康保険に加入されている方が病院などで治療を受けた医療費を、国からの補助金と国民健康保険税でまかなうべくになっています。したがって、医療費が多くなると、みなさんの負担が多くなるわけですが、町では、町民のみなさんの健康を守るにはもちろんのこと、こうした町民の負担をできるだけ軽くするため、ことしも一般会計から千五百七十三万円の繰入れを行います。これにより、ことしの国民健康保険税の上昇は、最少限の二・四パーセントに抑えました。「毎年上がる、上がる」と言われる国民健康保険会計の運営は、結局、みなさんの健康が、ふたふたと、健康には十分注意をしましょう。

